

年 組 名前：

南アルプス 棚田で無農薬ブドウを

楡形山の麓から甲府盆地と富士山を一望できる南アルプス市の「中野の棚田」で、同市小笠原のワイナリー「ドメーヌヒデ」(渋谷英雄代表)が、無農薬で栽培するワイン醸造用のブドウの畑を作

ることを計画しています。中野地区は雨が少なく、山からの風が入ること



ワイン用ブドウを栽培する棚田。富士山が一望できます
＝南アルプス市中野

とで適度に乾燥するなど醸造用ブドウの栽培に適しているといま

す。畑の広さは約1.2㌔。景観を保つためにビニールをかけず、太陽の光などを反射する金属の支柱を使わずに作ります。3月3日

から地域住民とともに「ヤマ・ソービニヨン」の苗を植え始めていて、月末までに約8000本を植える予定です。ワインは2年後の試験醸造、4年後の商品化を目指して

いて、渋谷代表は「日本の美しさを自慢できる、絶景のブドウ畑にしたい」と意気込んでいます。

(2024年3月21日付 山梨日日新聞 週刊こぴっと10面)

問1 南アルプス市の「中野の棚田」では、なにを栽培する畑を作

ることを計画していますか。

問2 中野地区は、どのような気候から、栽培に適しているのですか。

問3 景観を保つために、どのような工夫をしていますか。